



平成29年9月12日

各位

会社名 九州電力株式会社
 代表者名 代表取締役社長 瓜生 道明
 (コード番号 9508 東証第一部・福証)
 問合せ先 ビジネスソリューション統括本部
 業務本部予算グループ長 山本 敬子
 (TEL 092-761-3031)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成29年7月31日に公表した平成30年3月期の業績予想及び配当予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成30年3月期通期 連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,945,000	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	1,945,000	95,000	65,000	50,000	98.17
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績(平成29年3月期)	1,827,524	122,640	94,234	79,270	159.97

(2) 平成30年3月期通期 個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,810,000	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	1,810,000	75,000	45,000	35,000	66.46
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績(平成29年3月期)	1,696,731	99,535	68,883	61,057	121.44

(3) 修正の理由

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、玄海原子力発電所の再稼働時期を見通せないことなどから、利益を未定としておりましたが、平成29年8月28日に3号機の使用前検査申請を行ったことなどを踏まえ、費用全般にわたる削減などを織り込み、予想値を算出しましたので公表いたします。

売上高につきましては、電気事業において、競争の進展などにより販売電力量が減少するものの、燃料費調整の影響による料金単価の上昇などから電灯電力料が増加することに加え、他社販売電力料や再エネ特措法交付金が増加することなどから、前年度を上回り 1兆9,450億円程度となる見通しです。

経常利益につきましては、グループ一体となって費用削減に取り組んでいることや、電気事業において、玄海原子力発電所3、4号機の再稼働を見込んでおりますが、電力システム改革に伴う諸経費等の増加などにより、前年度を下回り 650億円程度となる見通しです。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前年度を下回り 500億円程度となる見通しです。

(参考) 主要諸元表

	今回公表	前回公表
販売電力量	766億kWh	764億kWh
原油CIF価格	54\$/b	55\$/b
為替レート	114円/\$	114円/\$
原子力設備利用率	44.5%	

2. 配当予想の修正について

(1) 平成30年3月期 配当予想の修正

・普通株式

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	(未定)	(未定)	(未定)
今回修正予想	10円00銭	10円00銭	20円00銭
当期実績			
前期実績 (平成29年3月期)	0円	15円00銭	15円00銭

・A種優先株式

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	(未定)	(未定)	(未定)
今回修正予想	1,750,000円00銭	1,750,000円00銭	3,500,000円00銭
当期実績			
前期実績 (平成29年3月期)	0円	3,500,000円00銭	3,500,000円00銭

(2) 修正の理由

配当につきましては、安定配当の維持を基本として、業績などを総合的に勘案し、決定することとしております。

平成30年3月期の配当予想につきましては、当年度の業績や財務状況などを総合的に勘案し、普通株式1株につき20円(中間、期末とも10円)、A種優先株式1株につき3,500,000円(中間、期末とも1,750,000円)とさせていただきます。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上